

# 岩国医療センター附属看護学校

## 第43回 学校祭



### 学校祭の目的は？

1. 全学年の看護研究を聴くことにより看護に対する考え方をもち、研究に対する考えを深める。
2. 講演を聴講することにより看護師に期待する接遇・マナーについて学ぶ。  
また、看護師に必要な接遇・マナーについて考えることができる。

# 看護研究発表

## 1年生

一処置一手洗いの重要性

～看護師の手を介した感染を防ぐために～

口腔ケアについて

～物品選択と効率的な歯の磨き方～

一年生は初めての看護研究発表でしたが、たくさんの文献を用いたり、パワーポイントを使ったり、とても分かりやすい発表でした！

一処置一手洗いは、院内感染を防ぐために重要で一番頻繁に行う技術なので、看護師にとってはとても大切な技術だと発表を聞いて再確認することができました。



## 2年生

身体拘束されている患者のストレス緩和への関わり  
～感覚性失語や脳血管性認知症のある患者を通して～

自己決定することと自己効力感を持つことの重要性  
～意欲低下した患者の日常生活を自立させるためには～



二年生は、基礎看護学実習Ⅱを終え、初めて自分達で論文を書き発表しました。論文を書くことは難しかったけれど、自分が患者さんに行ったケアや関わりを振り返り、学びを深めることができました！

発表から、患者さんの傍にいることの重要性や意欲が低下した患者さんへのやる気を引き起こす関りについて学ぶことが出来ました。

## 3年生

不安を抱く患者のそばにいることの大切さ  
～慢性閉塞性肺疾患の急性増悪により人工呼吸器装着となった患者との関わりを通して～

統合失調症の慢性期症状を持つ患者の看護  
～セルフケア行動を維持するための関わり～



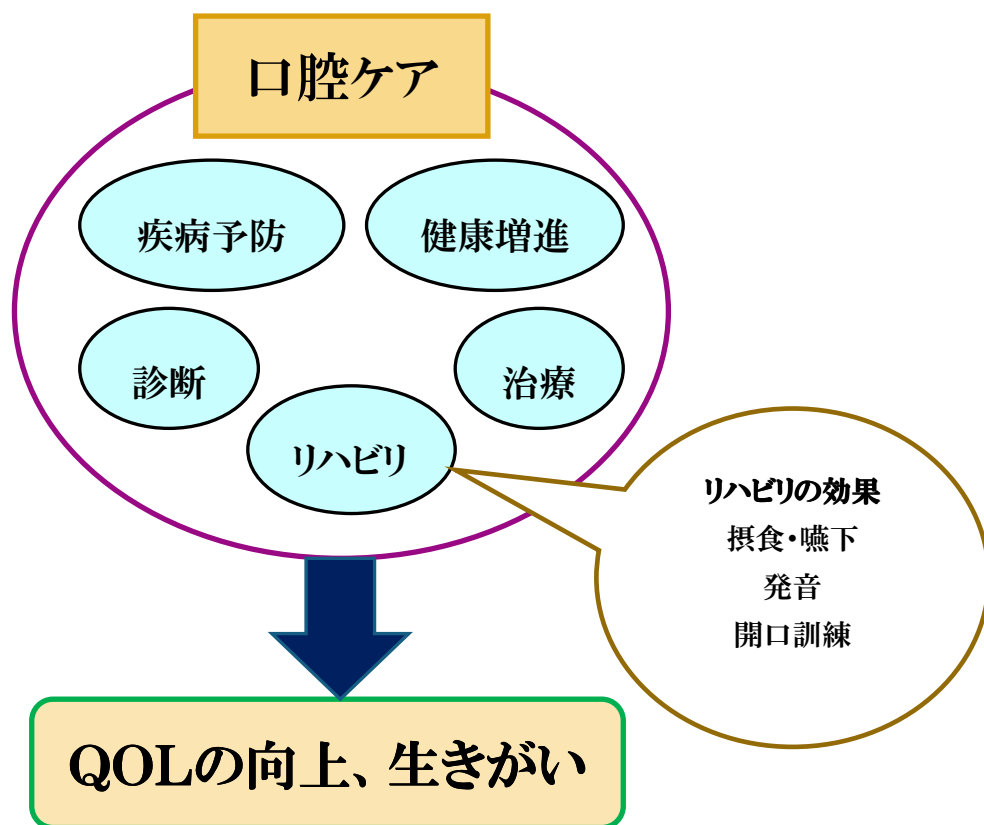
三年生は、パワーポイントを効果的に使用することで内容だけでなく、目で見て分かりやすい発表でした！

患者さんにだけ視点を向けるのではなく、家族にも目を向け、精神的ケアを行っており看護の視野を広げることが出来ました。また、患者さんの個別性やニードに応じケアを行うことの必要性を学びました。

今回は、1年生の口腔ケアについての

看護研究を紹介したいと思います！

## 口腔ケアについて ～物品選択と効率的な歯の磨き方～



口腔ケアの目的は・・・

- ①口腔疾患の改善・予防
- ②自分で食べる能力の向上
- ③唾液等による自浄作用
- ④自浄作用による感染防御機能増
- ⑤コミュニケーションや味覚、口臭の改善など文化面の向上
- ⑥誤嚥性肺炎や誤嚥事故の予防や防止

**口腔内細菌数は、**  
よく歯を磨く人は1000~2000億、  
あまり歯を磨かない人は4000~6000億、  
ほぼ歯を磨かない人は1兆もいる  
そうです！



いろいろな道具で一分間歯を磨き、

カラーテスターで汚れを視覚化してみました！

- ・普通の歯ブラシ
- ・やわらかめの歯ブラシ
- ・かための歯ブラシ
- ・スポンジ歯ブラシ
- ・電動歯ブラシ

その結果、様々な種類の歯ブラシの

利点・欠点が分かりました。

## 様々な種類の歯ブラシの利点・欠点

種類	利点	欠点
電動歯ブラシ	短時間できれいに磨ける。 電動なので、あまり手を動かさなくてよく、誰でもしっかり磨ける。	高価
歯ブラシ (やわらかめ)	力を入れずに磨いても、全体的に汚れが落ちる。また、毛先が柔らかいため歯間もきれいになる。	特になし
歯ブラシ (ふつう)	殆ど汚れは残らず、隅々まできれいに磨ける。	特になし
歯ブラシ (かため)	汚れはある程度取れる。	歯間、歯茎は痛みを感じるため磨きにくい。 →子供、高齢者には不向き
スポンジ 歯ブラシ	歯ブラシが使えなくても全体的に汚れを落とせる。 舌のマッサージができる。	細かい所の汚れを落としにくい。

### 看護研究発表を終えて・・・

第43回学校祭で私たちは授業で学んだ口腔ケアについて研究し、発表しました。実験の目的としては、様々な歯磨きを体験することで物品がどの患者に適しているのかを考察し、患者の状態にあわせて物品選択を行うことのできる視点を理解する事でした。実際にカラーテスターを使用することにより、汚れを視覚化することでわかったことがあります。磨いてみての感想では、まず汚れは共通で歯間に多く残っていました。それは歯の表面だけを磨いてしまうため歯間などの細かい部分が磨けていないということでした。また物品によっては歯茎や歯間を磨く際に痛みを感じる物もあったことから適切な物品選択を行うことが重要だとおもいました。使用する歯ブラシは個人差があるけれど、歯ブラシのやわらかめを使用すると、痛みもなくきれいに磨くことができ良いということを実験から学びました。また、患者によって歯並びなど口腔状況が異なるため適切な物品選択が必要となることを再確認することができました。

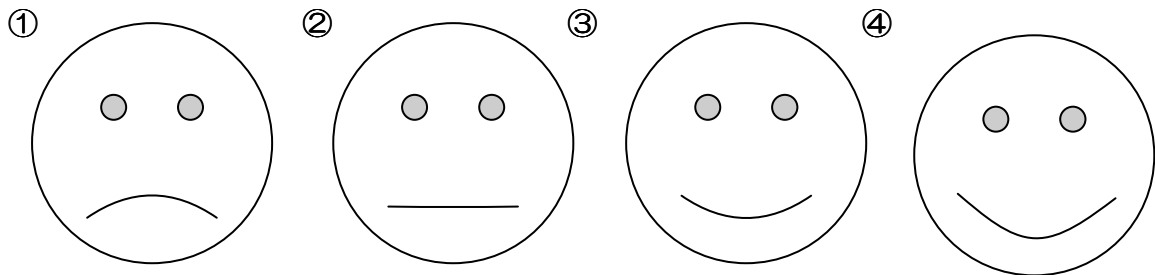
今回は口腔ケアについてでしたが、今後どの技術においても学びを深めていきたいです。

# 特別講演

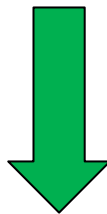
『思いやりを形に～心を伝える接遇マナーのポイント』  
～接遇マナーにおいて看護師に期待すること～

講演から、心が伝わる笑顔のポイントを学びました！

◆相手に優しさ・安心感・信頼感が伝わる表情／伝わらない表情



どの笑顔が相手に思いやりが伝わるとおもいますか？



正解は、③番です！

③番の表情は「大器の微笑」と言われ、笑いすぎてなく失礼のない笑顔とされています。

実際に練習してみました！

この時に・口元  
・目の表情  
・心

の3つを一致させることが  
大事となります。



**皆さんも実践してみてください(^-^)**

#### 学校祭で自治会活動を経験して・・・

今回学校祭を行うにあたり、私は初めて自治会の一員として参加しました。自治会の仕事は、会場図を作成したりリハーサルを行ったりと多忙なものでした。そんななか学んだことは、一人で多くの仕事をこなすと間に合わなくなり、他の人に迷惑をかけてしまうこともあったことから、物事をなすには、一人ひとりが自らの役割をしっかりと把握し責任を持って動くこと、また、進行状況などの情報共有やお互いの役割を手伝うなどのチームワークが大切だということです。誰か一人が欠けても、学校祭を成功させることはできなかったと思います。仕事が多いことは辛いことでしたが、その分、学校祭を終えたときの達成感は大きく、喜びも仲間と共に分かち合うことができたためより大きかったです。チームワークは看護師の職に就くにあたり、重要なものだと思います。自治会活動を通して得た経験や学びを今後活かしていきたいと思っています。

64回生 齊藤 裕也